

11日目 8月16日

会 場： 阪神甲子園球場

第1試合	～3回戦～																			
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E		
下関国際	2	3	1	0	0	0	3	0	0							9	12	1		
浜 田	0	0	0	0	0	0	2	1	0							3	6	0		
(投手-捕手)																				
・ (下)	古賀→松尾→仲井 - 橋爪																			
・ (浜)	波田→森井→近堂 - 網本→田村																			
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)							
・ (下)	仲井、古賀																			
・ (浜)	中野						波田						波田							
(審判) [球審]	中西			〔一塁〕 宅間			〔二塁〕 前坂			〔三塁〕 大上										
(チーム成績)																				
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守	備	失	暴	ボ	逸	打	妨
(下)	44	12	8	2	0	0	3	6	4	5	8	1			1	0	0	0	0	0
(浜)	36	6	3	1	1	1	10	3	0	1	6	1			0	1	0	0	0	0

「下関国際、序盤の集中打で浜田下す！」

大会第11日目の第1試合は山口県代表、下関国際と島根県代表、浜田の中国地区の隣県対決となった。試合は序盤から下関国際が大量リードする展開となった。1回表、1死2・3塁から4番賀谷の左中間への適時打で2点を先制する。2回表には安打と四球で無死満塁とし、9番橋爪の内野ゴロの間に1点追加すると、1番赤瀬の三遊間を破る適時打で2点を追加した。3回表にも7番の森に適時打が飛び出しリードを6点に広げた。

試合中盤は4回から継投した浜田2番手森井の好投もあり両者0行進が続いた。しかし、7回表、四球と安打で無死1・3塁から5番奥山が適時打を放つと、犠打で2・3塁とし7番森も適時打を放つ。さらにバッテリーミスで、一挙3得点を挙げる。

ここまで下関国際先発の古賀に完全に抑えられていた浜田打線だったが、7回から継投した2番手投手の立ち上がりを攻める。先頭打者の波田がレフトポール際への本塁打を放ち1点を返すと、連打と四球で無死満塁とした。下関国際もすかさず3番手の仲井に継投するが、途中出場の大賀が押し出し四球を選び2点を返す。更に8回裏、1死から3番波田が3塁打を放ち、4番上田の内野ゴロの間に1点返したが、序盤の大量失点が響き追いつくには至らなかった。

